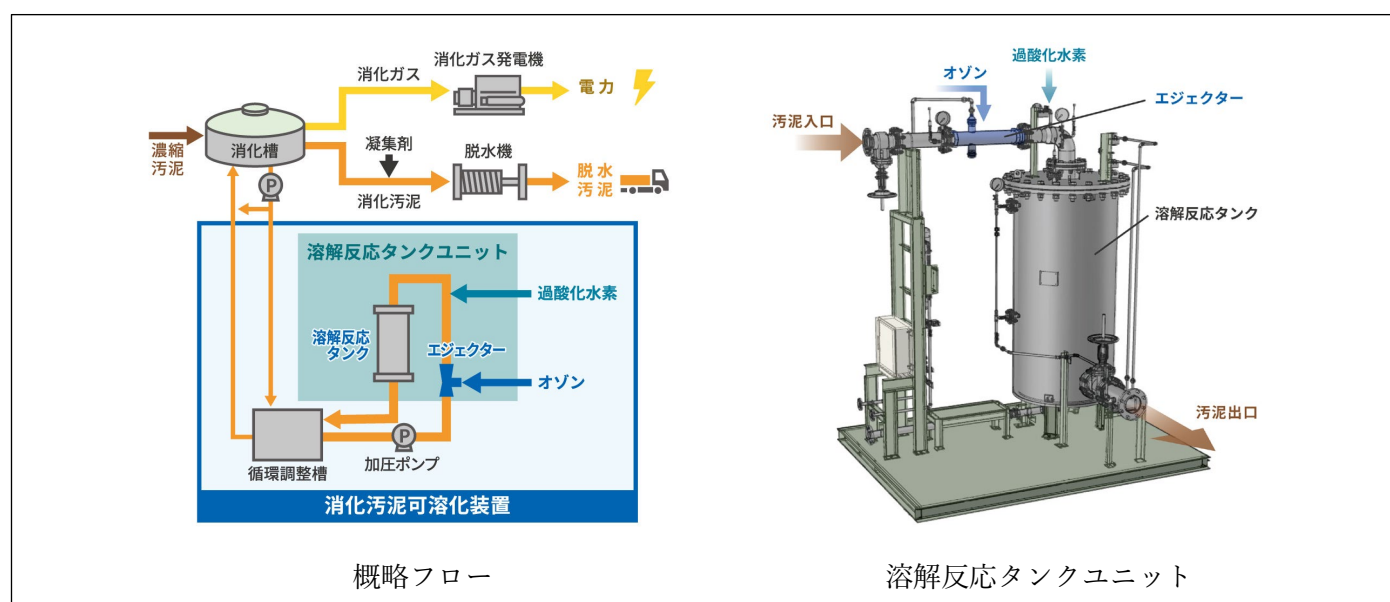


FJISS 温室効果ガス削減技術概要情報

企業名	GHG 削減技術カテゴリ	対象施設等	FJISS 登録年月
東芝インフラシステムズ株式会社	創エネ・再エネ技術	処理場	2022年8月

項目	内容
商品（製品）名	消化汚泥可溶化装置
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・オゾンと過酸化水素を併用した促進酸化処理により、高い可溶化効果を発揮。 ・独自構造の反応タンクにより、オゾンを高効率に溶解。 ・消化汚泥中の未消化汚泥を対象とすることで、さらに可溶化効果を向上。 ・低LCC化により、短期間での投資回収が可能。
仕様	設置スペース（含メンテナンススペース）：約 11m×15m 可溶化処理汚泥量：最大 158m ³ /日
推奨規模 設置個所等	設置個所：嫌気性汚泥消化設備を有する下水処理場 推奨規模：濃縮汚泥量 100～250m ³ /日
省エネ、CO ₂ 削減性能等	消化ガス発生量：導入前に比べ 30%増加 脱水汚泥発生量：導入前に比べ 10%減少 （実規模レベルの実証試験の結果）
導入実績	
技術認証登録等	下水道新技術推進機構 審査証明番号第 2101 号
詳細情報 URL	https://www.global.toshiba.jp/news/infrastructure/2022/04/news-20220425-01.html
問い合わせ先	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部 水・環境システム第二部 上下水道事業推進担当 TEL：044-331-0816



注) 本技術の内容は、企業からの情報をそのまま掲載しており、FJISS が保証するものではありません。